

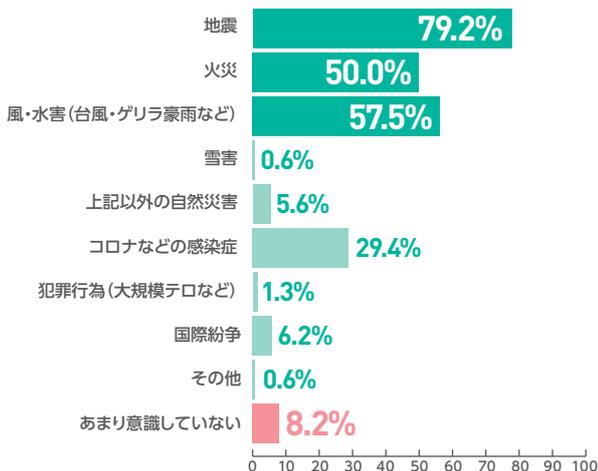
中小企業における災害時への対応について

企業における災害対応は、従業員の安全確保と事業継続の両立が求められる重要な課題です。毎年のように地震や風水害をはじめとする大規模な災害が発生しており、多大な被害を受ける企業も少なくありません。今回は災害に対する企業の意識はどうか、災害に対する準備をどの程度実施しているかなどについてアンケートを実施いたしました。

調査時期 / 2024年5月15日～6月5日 調査対象企業数 / 1599社 有効回答数 / 466社 有効回答率 / 29.1% ※四捨五入の関係で構成比の合計が100にならない場合があります。

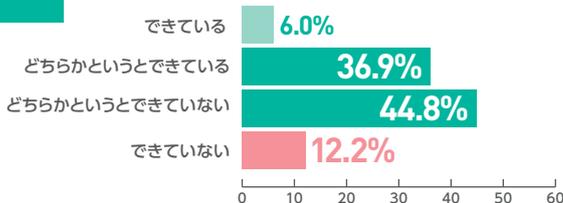
Q1

貴社では、普段どのような災害を意識していますか。 ※最大3つ選択

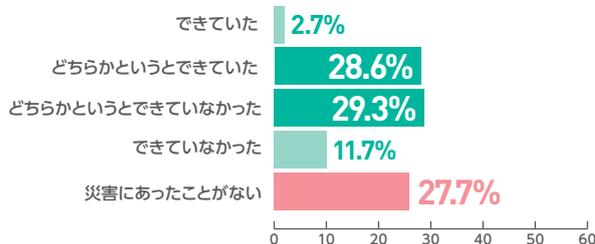


Q2

現在の災害への備えの自己評価 ※1つ選択

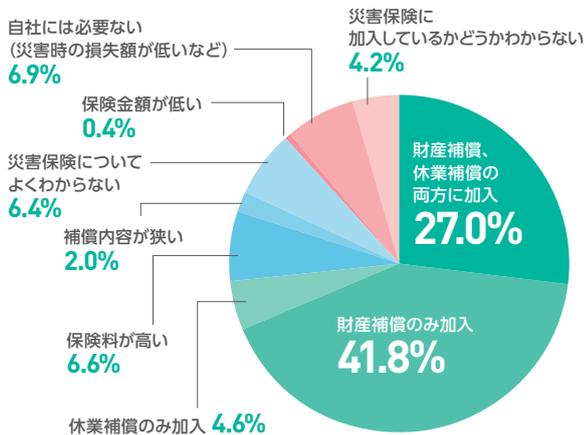


実際の災害にあった際に自社の備えをどう感じたか ※1つ選択



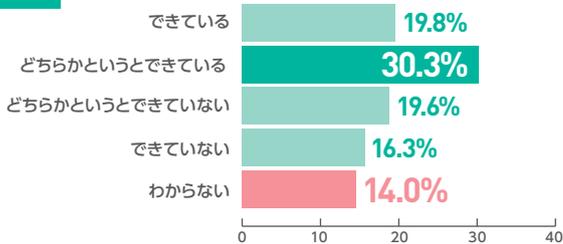
Q3

貴社では、事業継続にかかる保険、具体的には財産補償や休業補償に加入されていますか。加入している場合はその内容、加入していない場合はその理由 ※1つ選択

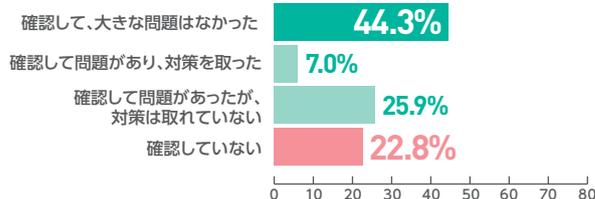


Q4

貴社では建物の耐震について、どのように考えていますか。 ※1つ選択

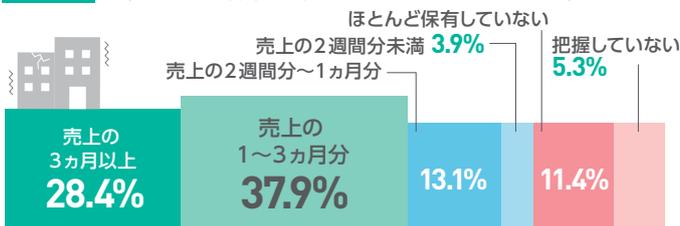


自社所在地周辺のハザードマップを確認していますか。 ※1つ選択



Q5

災害にそなえて現預金を通常どの程度保有していますか。(現預金の保有が最も少ない時期を想定して) ※1つ選択



自治体や信用保証協会、政府系金融機関などの公的団体から、災害対策金融支援を受けたことがありますか ※1つ選択

